



2001年度 第3四半期 ソニー連結業績概要

注意事項

スライドに記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業種別や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。口頭もしくは書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。(1)ソニーの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特にソニーが極めて大きな売上または資産・負債を有する米ドル、ユーロまたはその他の通貨と円との為替レート、(3)エレクトロニクスビジネスで顕著な継続的な新製品導入と急速な技術革新や、ゲーム、音楽、映画ビジネスで顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争のなかで、顧客に受け入れられる製品やサービスをソニーが設計・開発し納めていく能力、(4)ソニーがエレクトロニクスビジネスにおいて競争、発展し、販売戦略を成功させる能力、(5)ソニーが音楽や映画ビジネスにおいてインターネットやその他の技術開発において競争、発展し、販売戦略を成功させる能力、(6)ソニーが研究開発や設備投資に十分な経営資源を集中させる能力、(7)ソニーと他社との合併、提携の成否、(8)偶発事象の結果などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。リスクや不確実な要素には、2001年9月11日に米国で発生した同時多発テロや、将来の出来事から発生する重要なかつ予測不可能な影響も含まれます。



FY01.3Q 連結業績

		前年同期比	現地通貨試算ベース*
売上高	2兆2,873億円	+ 7%	1%
営業利益	1,586億円	+ 10%	48%
税引前利益	1,193億円	12%	
当期純利益	640億円	14%	

為替の影響 (平均レート)

FY00 3Q 1ドル 109円 FY01 3Q 123円
11-11 94円 109円など
売上高 約 +1,890億円、営業利益 約 +830億円

営業権およびその他無形固定資産に関する会計原則変更の影響額

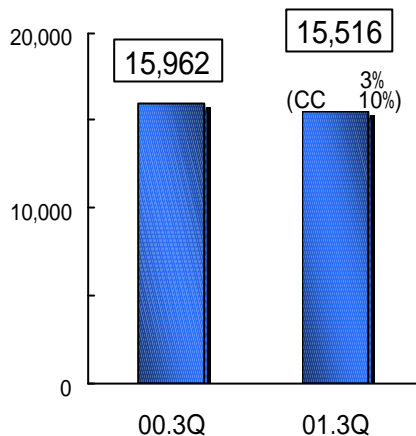
営業利益 約 +51億円、当期純利益 約+48億円

*円と現地通貨との間の為替変動がなかったものと仮定した試算ベース (Constant Currency basis)

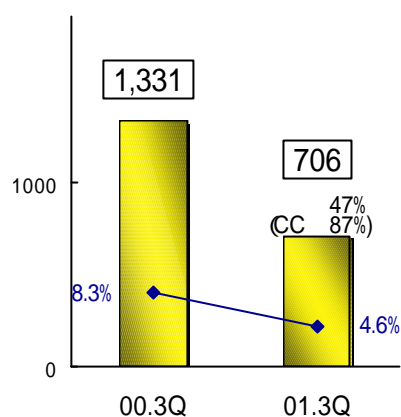
FY01.3Q エレクトロニクス

(億円)

売上高



営業利益



%は前年同期比の伸び率

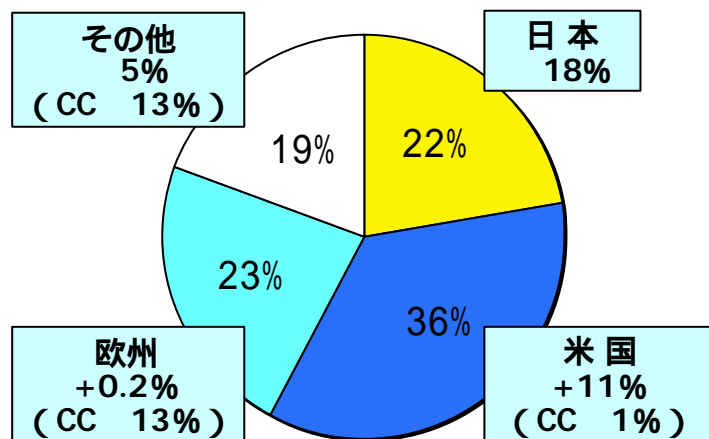
セグメント間取引を含む

CCは現地通貨試算ベース (Constant Currency basis) の伸び率

折れ線グラフの数値は営業利益率

3

エレクトロニクス地域別売上 (01.3Q)



円グラフは地域別売上高構成比率

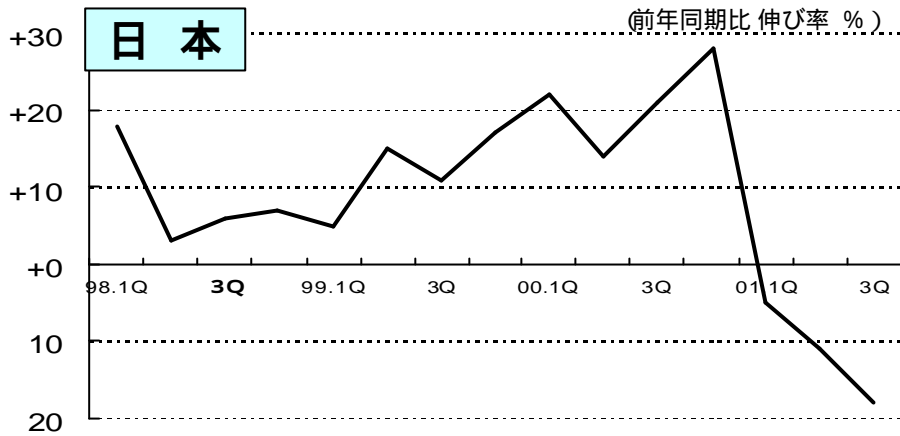
内の%は前年同期比の伸び率

CC: 現地通貨試算ベースの伸び率

営業収入を除く外部顧客売りベース

4

エレクトロニクス地域別売上トレンド

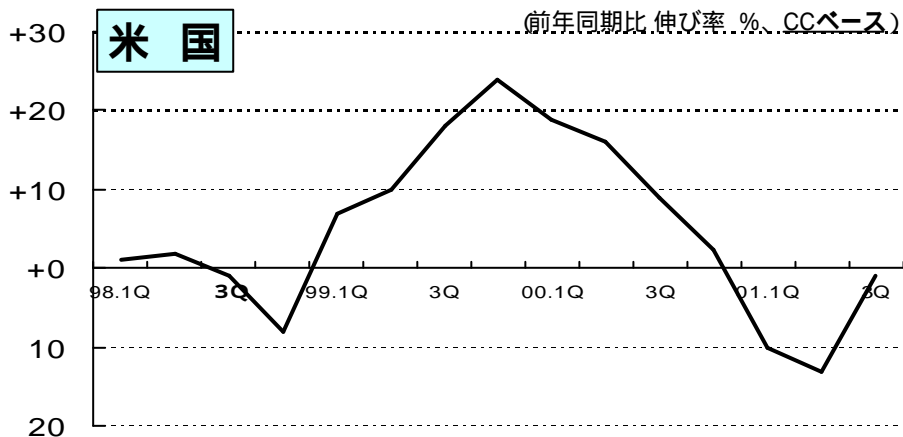


前年同期比	主な製品カテゴリー (01.3Q)
増加	PC
減少	半導体、携帯電話、放送用機器、携帯型オーディオ

営業収入を除くベース

5

エレクトロニクス地域別売上トレンド

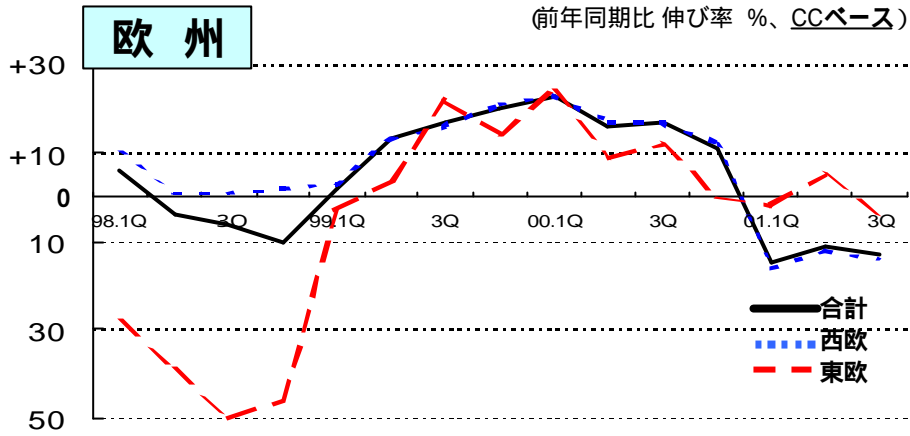


前年同期比	主な製品カテゴリー (FY01.3Q)
増加	PC、テレビ、放送受信端末
減少	PC用ディスプレイ、半導体、ビデオカメラ

営業収入を除くベース (CC 現地通貨試算ベース)

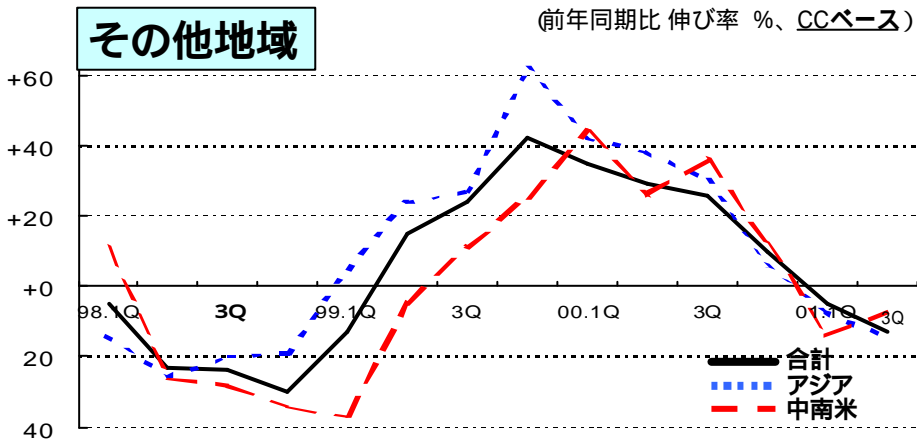
6

エレクトロニクス地域別売上トレンド



(7)

エレクトロニクス地域別売上トレンド

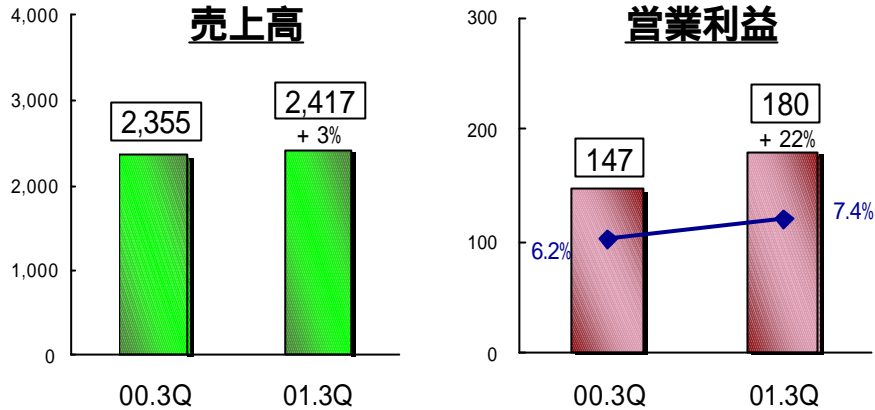


(8)

エレクトロニクス分野 製品部門別業績

(億円)

オーディオ



%は前年同期比の伸び率
内販を含むベース

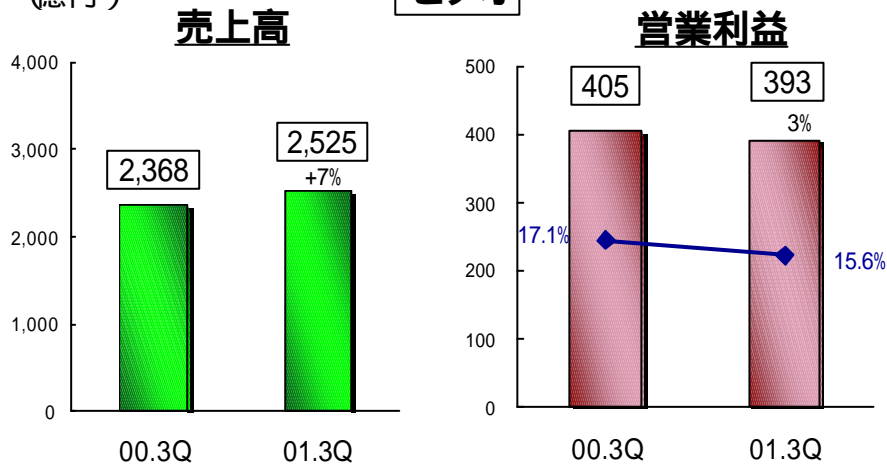
注 製品カテゴリー別の「営業利益（損失）」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

9

エレクトロニクス分野 製品部門別業績

(億円)

ビデオ

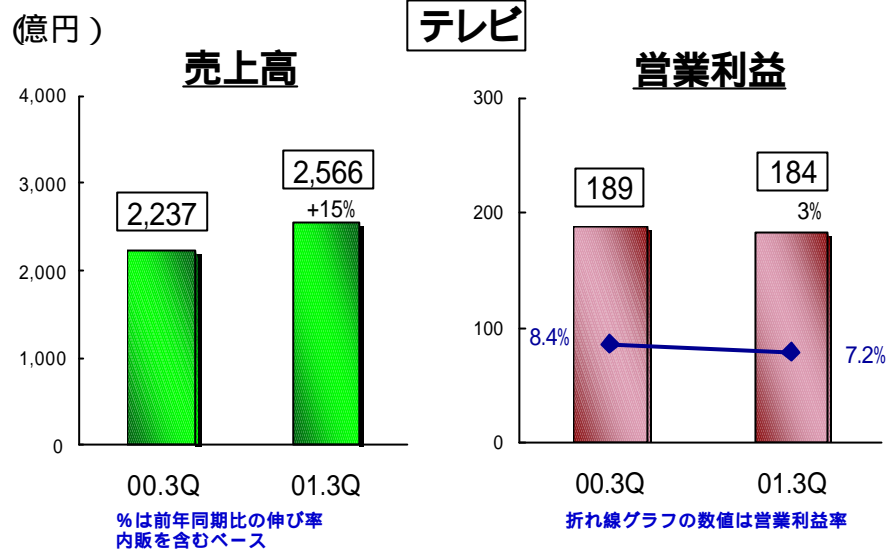


%は前年同期比の伸び率
内販を含むベース

注 製品カテゴリー別の「営業利益（損失）」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

10

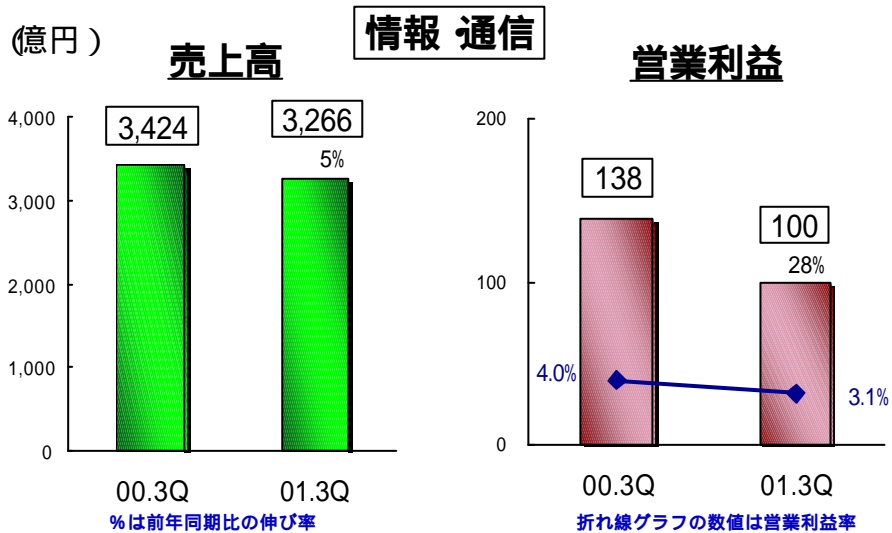
エレクトロニクス分野 製品部門別業績



注 製品カテゴリー別の「営業利益（損失）」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

11

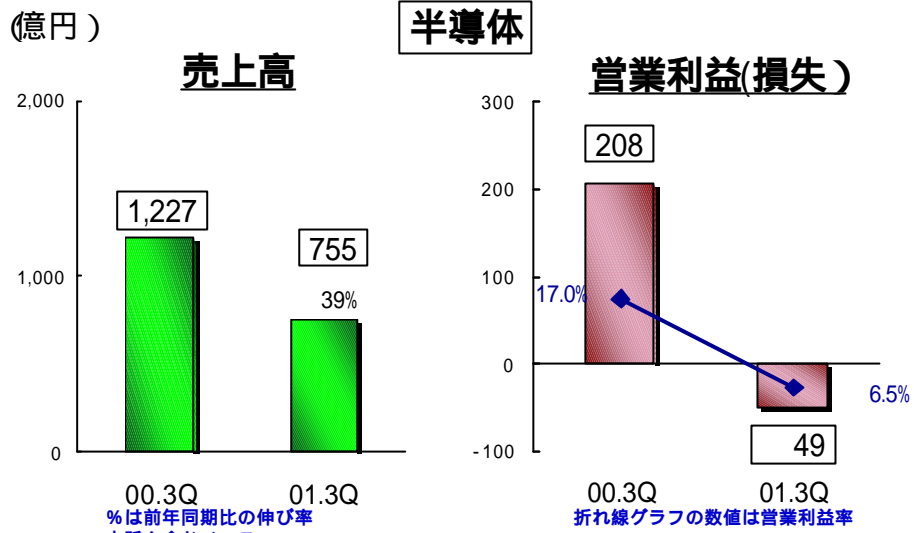
エレクトロニクス分野 製品部門別業績



注 製品カテゴリー別の「営業利益（損失）」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

12

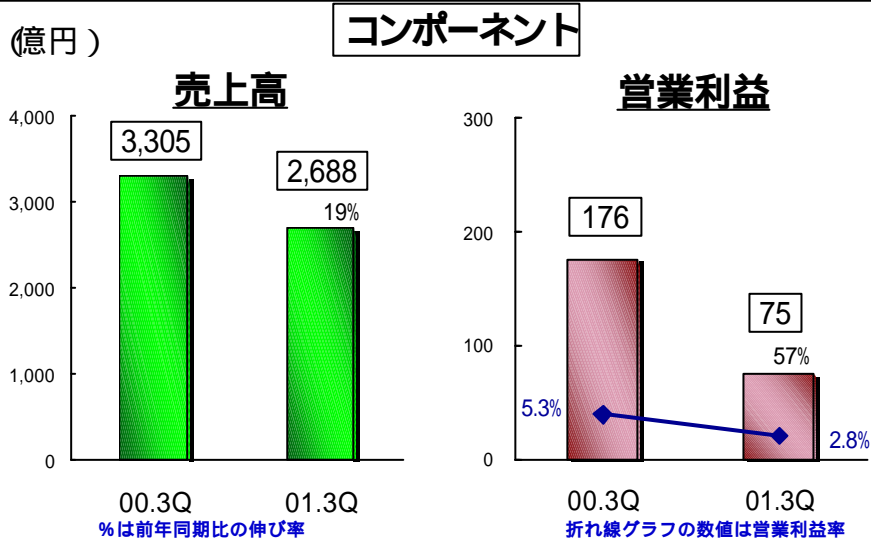
エレクトロニクス分野製品部門別業績



注 製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

13

エレクトロニクス分野製品部門別業績

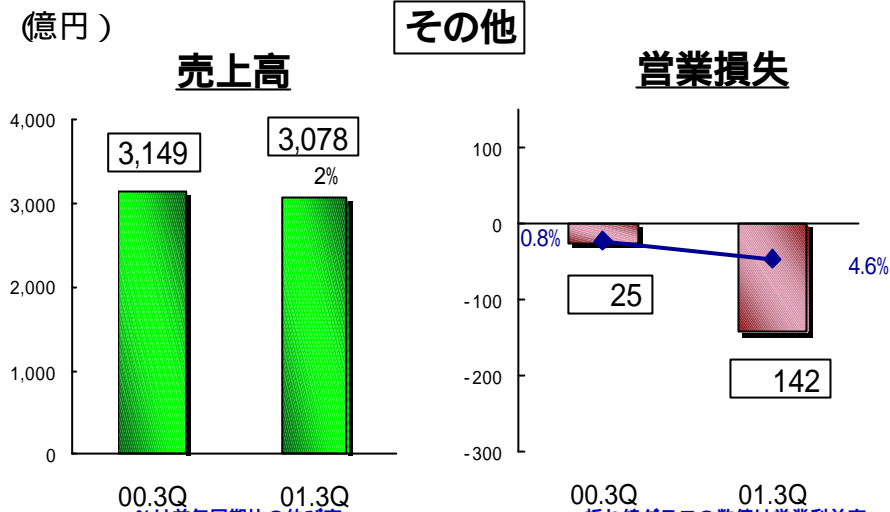


注 製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

14

エレクトロニクス分野製品部門別業績

(億円)

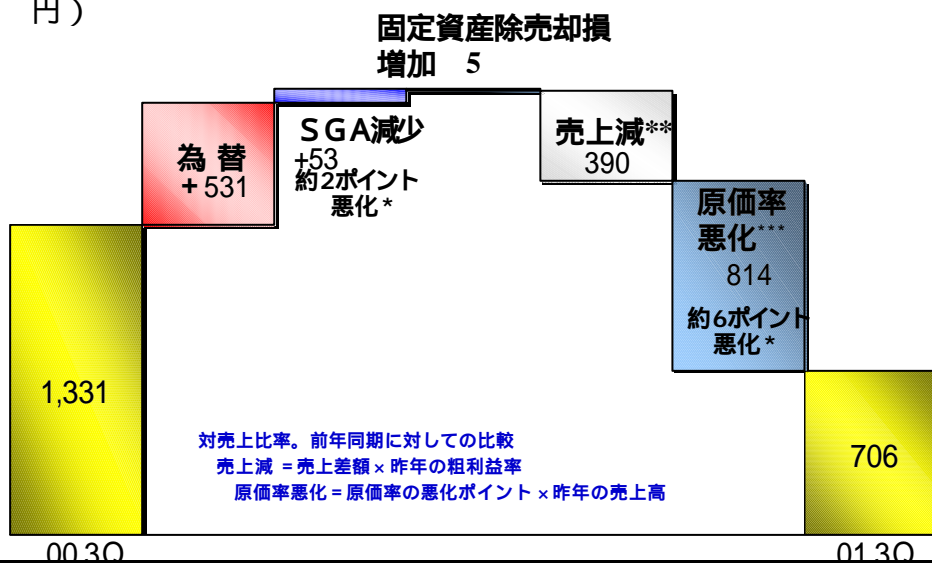


注 製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えられています。

(15)

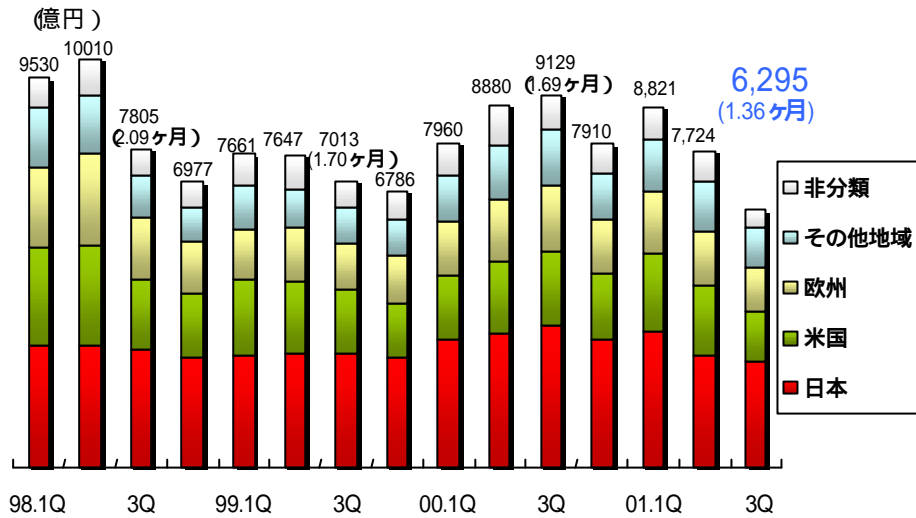
エレクトロニクス営業利益 増減要因 (01.3Q)

(億円)



対売上比率。前年同期に対しての比較
 売上減 = 売上差額 × 昨年の粗利益率
 原価率悪化 = 原価率の悪化ポイント × 昨年の売上高

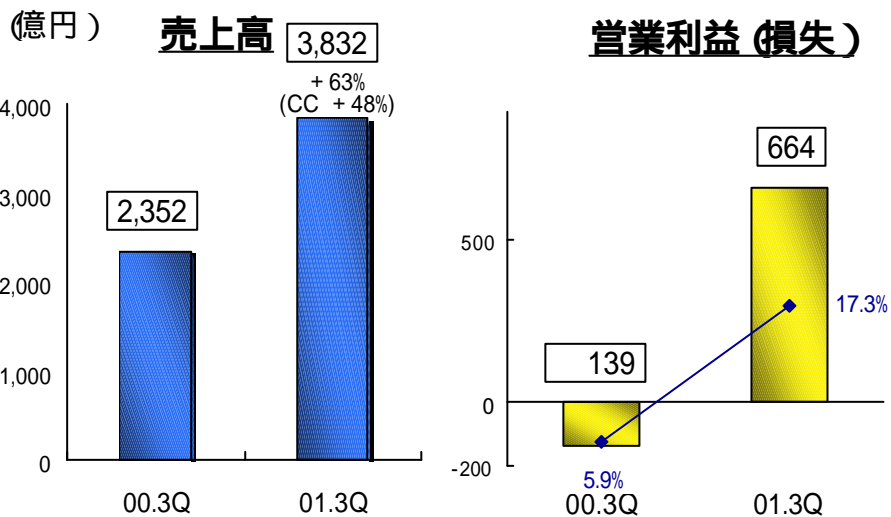
エレクトロニクス連結棚卸資産 (地域別)



上段：在庫水準（億円単位）
 下段：期首期末平均在庫 対 月平均売上回転月数
 ビジネス別セグメントの区分変更により、FY00.1Q～4Qの数値は修正再表示しています。

17

FY01.3Q ゲーム

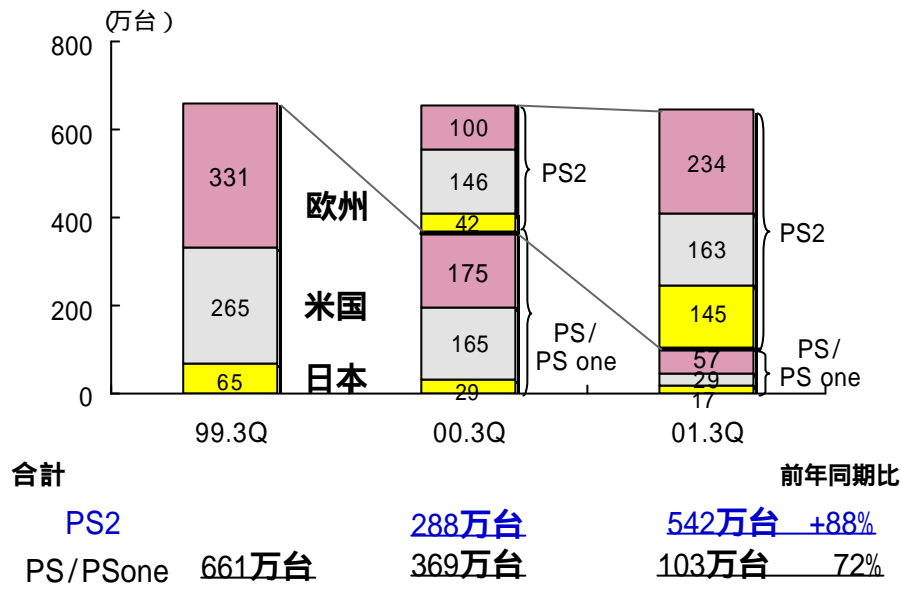


%は前年同期比の伸び率
 CCは現地通貨試算ベースの伸び率
 セグメント間取引を含む

折れ線グラフの数値は営業利益率

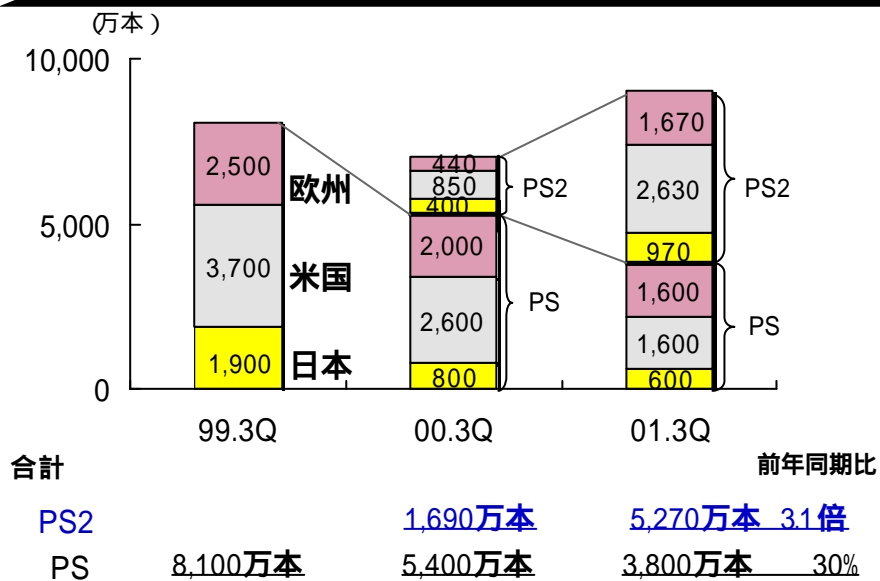
18

PlayStation ハード生産出荷台数



(19)

PlayStation ソフト生産出荷本数

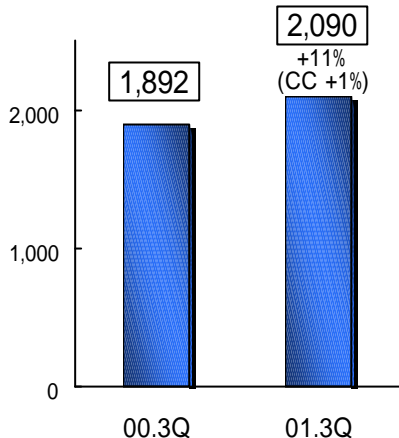


(20)

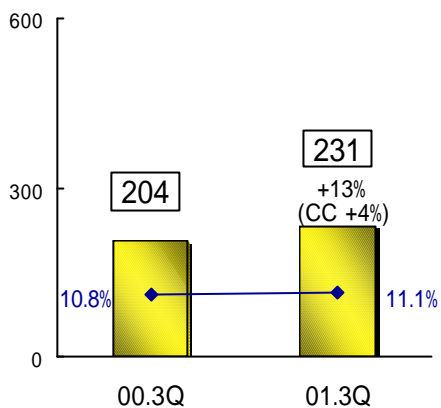
FY01.3Q 音楽

(億円)

売上高



営業利益



%は前年同期比の伸び率
CCは現地通貨ベースの伸び率
セグメント間取引を含む

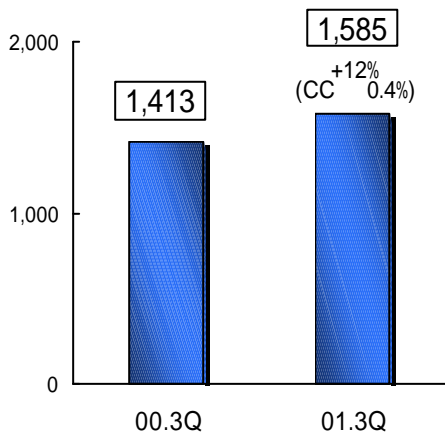
折れ線グラフの数値は営業利益率

(21)

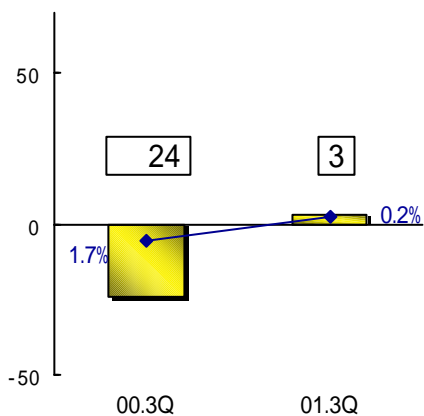
FY01.3Q 映画

(億円)

売上高



営業利益 (損失)



%は前年同期比の伸び率
CCは現地通貨ベースの伸び率
セグメント間取引を含む

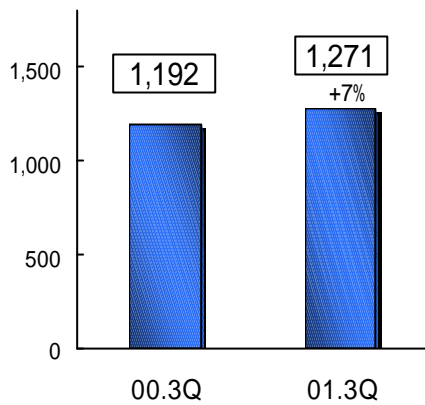
折れ線グラフの数値は営業利益率

(22)

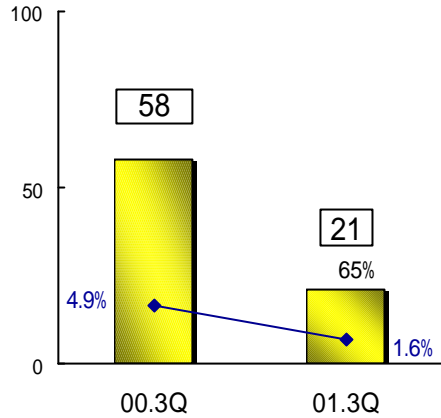
FY01.3Q 金融

(億円)

売上高



営業利益



%は前年同期比の伸び率
セグメント間取引を含む

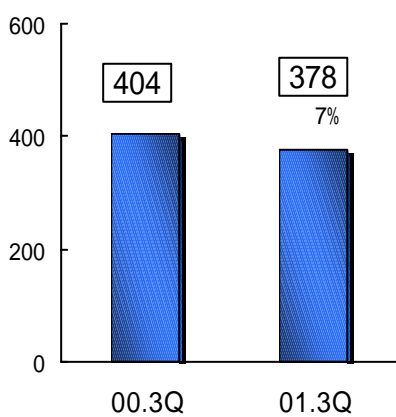
折れ線グラフの数値は営業利益率

23

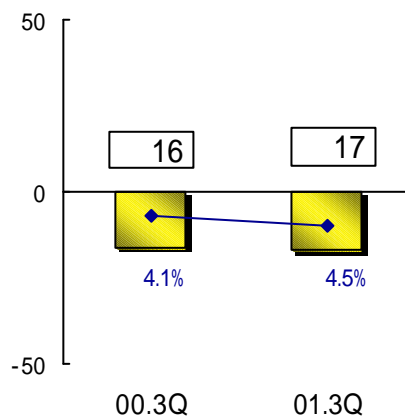
FY01.3Q その他

(億円)

売上高



営業損失



%は前年同期比の伸び率
セグメント間取引を含む

折れ線グラフの数値は営業利益率

24

FY01 業績見通し

2002年1月25日現在

(単位: 億円)

	FY00	FY01E*	前年度比
売上高	73,148	75,500	+ 3%
営業利益	2,253	1,300	42%
税引前利益	2,659	700	74%
当期純利益	168	100	40%
設備投資額	4,652	3,500	25%
減価償却費**	3,483	3,900	+12%
(うち有形固定資産分)	2,703	3,300	+ 22%

* 営業権およびその他の無形固定資産の償却の会計基準変更後

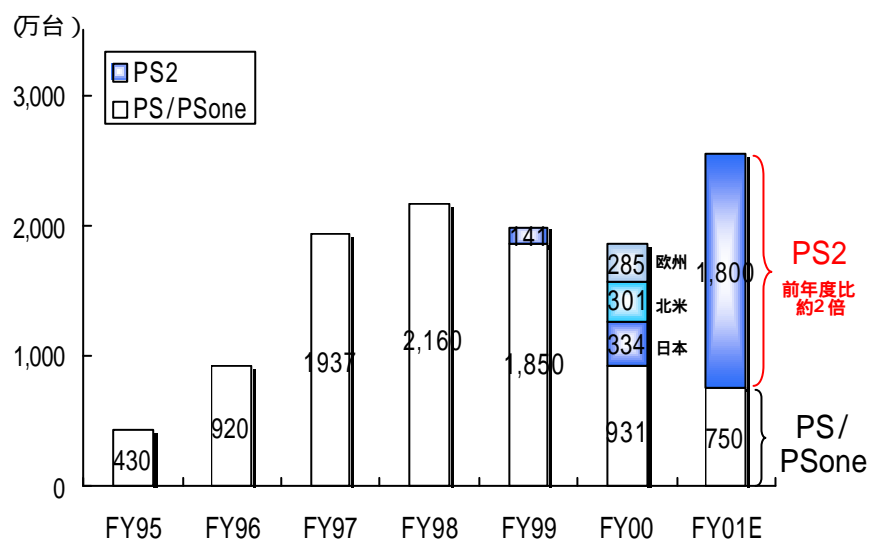
** 無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含む

為替前提レート

FY00	01.4Q
1ドル	110円
	130円前後
1ユーロ	99円
	115円前後

25

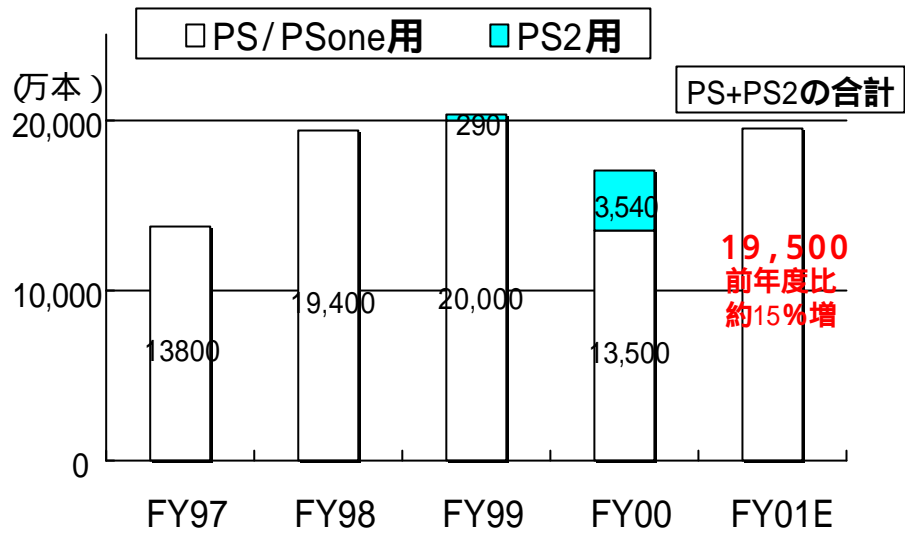
PlayStation ハート生産出荷台数推移 & 計画



FY95は94.12月からの%3月までの累計

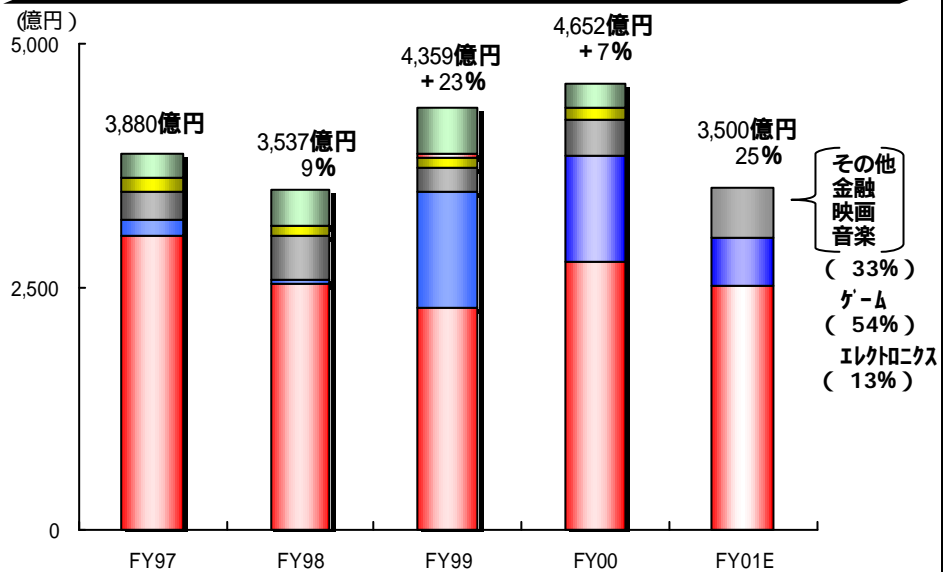
26

PlayStation ソフト生産出荷本数推移 & 計画



(27)

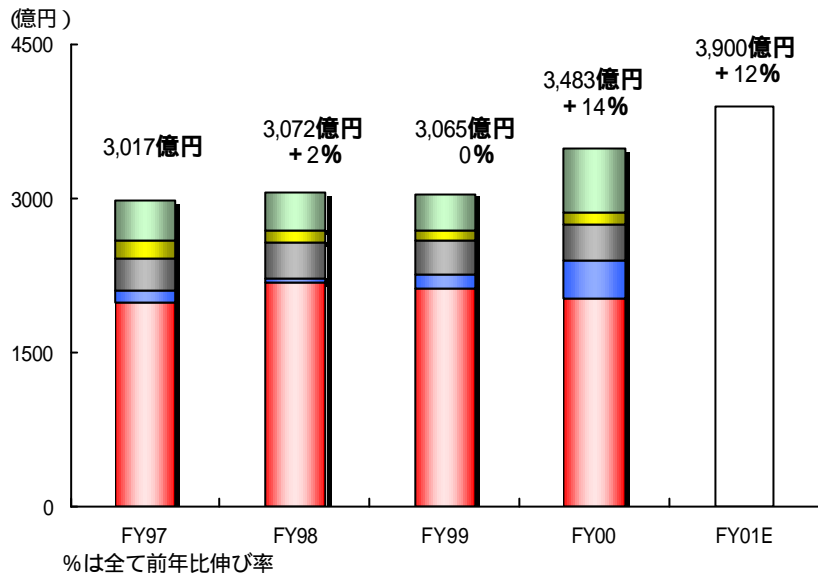
FY01 設備投資見通し



(28)

FY01 減価償却費 見通し

(無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含むベース)



29



(ご参考)

ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ

01.4Q 業績 (2001年10 12月)	
<米国会計基準、単位 :百万ユーロ>	
売上高	1,046
当期純利益	139
出荷台数(万台)	680

* 前年同期の金額は算出しておりません

* ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズは持分法適用子会社であり、同社の当期純利益の50% (持分割合相当分) が、ソニーの連結当期純利益に計上されています

30

(参考資料) 為替レート推移

(単位：円)

2001年度	1Q	2Q	3Q		
米ドル 平均レート	122	121	123		
決済レート	119	121	119		
ユーロ 平均レート	106	107	109		
決済レート	107	107	107		

2000年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
米ドル 平均レート	106	107	109	117	110
決済レート	106	106	108	112	108
ユーロ 平均レート	98	96	94	108	99
決済レート	103	99	94	96	98